

全国大会 2022

測位航法学会主催「全国大会 2022」を 2022.6.8(水)～2022.6.10(金)「高精度衛星測位の現状と将来」についてオンラインで開催します。6/8(水) および 6/9(木)にセミナー① ②を開催し、6/10(金)に研究発表会を行います。セミナーの概要を以下に記しますので [参加登録フォーム](#) から登録してください。参加者は会員限定で参加費は無料ですので 皆様奮ってご参加ください。研究発表会の募集も行っています。日頃の調査研究の成果を発表ください。

On Line 開催概要

日程・スケジュール概要

日付	時間	ブレイク	内容	講師
6/8(水)	9:30-16:30	休憩有り 昼休憩 12:30-13:30	セミナー ①	荒井 修氏(AAI-GNSS 技術士事務所)
6/9(木)	9:30-16:30	休憩有り 昼休憩	セミナー ②	岡本 修氏(茨城工業高等専門学校)

		12:30-13:30		
6/10 (金)	8:30-15:00	有り	研究発表会	17名発表

セミナー「高精度衛星測位の現状と将来」

☆ 期間:2022年6月8日(水)~6月9日(木)

☆ 会場:Zoom 会議室 (On Line)

☆ 参加申込方法:webでの事前申込み(会員限定)

[参加登録フォーム](#)はこちらからどうぞ

☆ 参加申込締切:2022年6月3日(金)23:59 → 延長しました。2022年6月7日(火)23:59

☆ 全国大会は測位航法学会会員限定の大会です。参加希望の方は[入会手続き](#)をしてご参加ください。「入会手続き中」の方は2022年5月31日迄に入会申請をお済ませください。測位航法学会のご入会は[こちら](#)からお願いいたします。

- 法人会員様と特別法人会員様は法人登録枠により登録された1口5名様(特別法人は10名様)のみご参加いただけます。
- 全国大会 On Line のセミナー・研究発表会において 録音・録画を認めておりません。ダウンロード資料のコピー・プリントも禁止します。
- 全国大会 On Line の内容の商用利用は認められません。

☆ セミナー①

日時:2022年6月8日(水) 9:30~16:30

講師:荒井 修氏(AAI-GNSS 技術士事務所)

☆ セミナー②

日時:2022年6月9日(木) 9:30~16:30

講師:岡本 修氏(茨城工業高等専門学校 教授)

研究発表会

全国大会では日頃の様々な取り組み、調査研究・活動等に関して研究発表の発表者を広く募集いたします。

次世代の研究を支える学生の発表を支援するために、学生による優秀な研究発表には「学生最優秀研究発表賞」を設けて表彰いたします。皆様、奮ってご発表ください。

研究発表の受付を締め切りました。多数の申込みを頂き有難うございました。研究発表会プログラムを下記に掲載しました。予稿提出未だの方は事務局まで提出をお願い致します。

☆ 開催日時:2022年6月10日(金)8:30~15:00

☆ 会場:Zoom 会議室 (On Line)

☆ プログラム:[以下のプログラムをご覧ください。](#)

☆ 参加登録締切:2022年6月3日(金)23:59 → 2022年6月7日(火)23:59

☆ 予稿提出締切:2022年6月3日(金)23:59 → 提出をお願い致します。

☆ 予稿提出要領

A4・1枚 PDF 電子ファイルで提出してください。

詳しくはテンプレートに従ってください。[Word テンプレート](#) [PDF テンプレート](#)

原稿送付先：測位航法学会事務局 E-mail : info@gnss-pnt.org (@を半角に変換してください)
ご提出いただいた予稿は全国大会ホームページのプログラムに掲載いたしますので、予めご承知置き下さい。

☆ 発表について

発表時間 15 分・質疑応答 5 分を予定しています。

2022 年度全国大会研究発表会 プログラム

測位航法学会 2022 年度全国大会研究発表会 2022 年 6 月 10 日(金) 標題をクリックすると予稿にリンクします。(準備中)				
開始時間	番号	発表題目	発表者	所属
		第一 セッション 座長:	鈴木太郎	千葉工業大学
8:30	1	IMU による小型船舶の姿勢推定	小松大生*	東京海洋大学大学院
8:50	2	都内交通事故現場におけるスマートフォンの測位性能調査	姚 凝致*	東京海洋大学大学院
9:10	3	ソフトウェア GNSS 受信機における擬似距離の算出方法について	長岡賢吾*	東京海洋大学大学院

9:30	4	SDR による QZSS L6 単独受信機の開発	高須知二	東京海洋大学
9:50	5	降雨時における RTK 測位への影響	柳澤 亘*	東京海洋大学大学院
10:10	6	みちびきアーデータを用いた CLAS 衛星補強情報の容量解析	高橋 賢	広島市立大学
10:30		Break		
		第二 セッション 座長:	辻井利昭	大阪公立大学
10:40	7	RTK2go.com を利用した熊本高専での RTK 基準局の運用事例	入江博樹	熊本高等専門学校
11:00	8	アレーアンテナによる GNSS マルチパスの方向推定及び誤差低減に関する研究	米山まうむ*	大阪公立大学大学院
11:20	9	クラウドを用いたフィールドモニタリングシステムの運用に向けた検討	塚本悟朗*	サレジオ工業高等専門学校専攻科
11:40	10	CLAS 測位結果を用いた LiDAR-SLAM の精度検証方法	重藤李佳子*	芝浦工業大学 土木工学科 中川研究室

12:00	11	屋内外空間での SfM/MVS 効率化における Visual Odometry の利用	中川雅史	芝浦工業大学
12:20		Break		
		第三 セッション	座長:	
			大塚雄一	名古屋大学 宇宙地球環境研究所
13:00	12	GNSS における 4G バンド周波数干渉の証拠	梅野 健	京都大学大学院 情報学研究科
13:20	13	大地震発生前の電離圏異常の伝搬速度変化	中林 亮*	京都大学大学院 情報学研究科
13:40	14	TEC 相関解析による 2022 年トンガ火山噴火直前の電離圏異常の研究	津坂悠太*	京都大学大学院 情報学研究科
14:00	15	GNSS-TEC と SuperDARN 北海道レーダーによって観測された 2022 年フンガトンガ・フンガハアパイ火山噴火後の電離圏擾乱の電磁氣的共役性について	新堀淳樹	名古屋大学 宇宙地球環境研究所
14:20	16	2021 年 8 月 27-28 日に発生した磁気嵐時における全球電離圏電子密度(GNSS-TEC)変動の研究	惣宇利卓弥*	名古屋大学大学院 宇宙地球環境研究所

14:40	17	A study of temporal and spatial variations of plasmaspheric total electron content during magnetic storms by using the GPS total electron content data	CHEN ZHIYU*	名古屋大学大学院 宇宙地球環境研究所
		敬称は略させていただきます。	* 学生会員	

セミナー概要

セミナー①

「高精度衛星測位の現状と将来①」

講師: 荒井 修氏 (AAI - GNSS 技術士事務所)

日時: 2022年6月8日(水) 午前9時30分からブレイクを挟んで12時30分、午後は13時30分からブレイクを挟んで16時30分まで。

内容: 本セミナーでは、「高精度衛星測位」の理解に必要な基本的な情報を提供します。主に GPS L1 C/A 信号を中心に、衛星信号の構成、受信機の機能、測位の基本アルゴリズムについて紹介します。入門者にとっては理解が容易ではないと思われる、搬

送波位相については、その物理的意味や、アンビギュイティの問題はじめ、基本的な処理方法について出来るだけ平易に説明します。また受信機が出力するデータや測位結果に関連する用語についても適宜紹介して参ります。

主な内容は

(1)GNSS による測位の原理(擬似距離を利用)

(2)GNSS 衛星の信号について

(3)GNSS 受信機の構成と動作

(4)搬送波位相の観測

(5)搬送波位相を用いた測位の基本

を予定しています。

初心者向けのセミナーです。GNSS の分野にご興味のある学生、社会人の方々にご参加いただければと考えております。

セミナー②

「高精度衛星測位の現状と将来②」

講師:岡本 修氏(茨城工業高等専門学校 教授)

日時:2022年6月9日(木) 午前9時30分からブレイクを挟んで12時30分、午後は13時30分からブレイクを挟んで16時30分まで。

内容:複数衛星システムを併用するマルチ GNSS の利用が一般的となり、我が国独自の衛星測位システムである“みちびき”では、日本周辺海域をカバーする広域測位補強サービス PPP、日本全土をカバーする測位補強サービス CLAS がインフラとして無料で提供されています。このようにセンチメートル測位を取り巻く環境は、近年大きく変革しており、測位結果に表れる様々な現象や振る舞いを理解するには、衛星測位の知識が求められます。

本セミナーでは、セミナー①により学んだ搬送波位相を用いた測位を利用するに当たり、知っておくべき利用上の課題や将来性を説明するとともに、応用事例を紹介します。また、最新の衛星測位受信機の測位性能から、測位精度や測位結果の振る舞いについて説明します。最後にみちびきが提供する補強サービスの測位性能について紹介します。

主な内容は、以下を予定しています。

(1)利用上の課題とその解決

(2)衛星測位の応用事例

(3)最新受信機の測位性能

(4)準天頂衛星みちびきによる補完と補強

セミナー①と同様に初心者向けのセミナーです。なぜ衛星測位が注目を浴びているのか興味がある学生や社会人の方々にご参加いただきたいと思います。

2021 年全国大会のみ大会の内容を見ることができます。

2021 年 全国大会	2021/6/23-25
2020 年 全国大会	2020/7/15-17
2019 年 全国大会	2019/5/15-17
平成 30 年 全国大会	2018/5/16-18
平成 29 年 全国大会	2017/5/9-11
平成 28 年 全国大会	2016/4/26-28
平成 27 年 全国大会	2015/4/22-24
平成 26 年 全国大会	2014/4/23-25
平成 25 年 全国大会	2013/4/17-19
平成 24 年 全国大会	2012/4/18-20
平成 23 年 全国大会	2011/4/25-27
平成 22 年 全国大会	2010/4/22-24

Copyright © 測位航法学会